



世界母乳育児週間2020年のメッセージ

今年の世界母乳育児週間のテーマは、「母乳育児支援で、地球も元気に」です。WHOとユニセフは、母乳育児支援に母乳育児カウンセリングが重要であるとして女性をもっと制度を利用できるように促進することを各国政府に求めています。

COVID-19に関する第4回緊急委員会声明

COVID-19に関するIHR (国際保健規則) に基づく第4回緊急委員会が7月31日に開催されました。会議では、全会一致で緊急事態は継続しているとし、WHO事務局に対して、「社会経済的な圧力が見られる中で対応疲れのリスクを軽減するため」、表現に配慮した実用的な助言を提供すること等、9つのアドバイスをを行いました。また、各国に対しては医療システムの整備、世界的な連帯などを呼びかけ、「誤った情報や偽情報」への対応など9つの提言を行いました。

COVID-19：長期にわたる対応努力の必要性を強調

7月31日のCOVID-19に関する第4回緊急委員会の開催に当たり、テドロス事務局長は、「今回のパンデミックは100年に一度の公衆衛生の危機的状況である。最悪を脱したと考える国は新たな集団感染に見舞われ、これまで影響の少なかった国でも新規感染と死亡者が増えている。パンデミックの影響は今後数十年続くと思われる」との見方を示しました。

Healthy Aging (2020 – 2030) の取り組み開始

世界の人口の急速な高齢化は社会のほぼすべての側面に影響を及ぼします。人々と家族、そして地域社会が健康的に歳を重ねるために、市民社会、国際機関、専門家、アカデミア、報道機関など、今後10年間の世界規模での協調と触媒的行動が緊急に必要です。世界保健総会で採択されたDecade of Healthy Ageing (2020 – 2030) が8月3日から開始されました。

世界の学校の4割、石鹸と水で手洗いきず

ユニセフとWHOの最新の報告書は、世界の学校の43%で石鹸と水による基

本的な手洗いをするための設備が利用できないと指摘しています。基本的な手洗い設備がない学校に通う子どもの数は8億1800万人であり、COVID-19や他の感染症のリスクにさらされています。

COVID-19パンデミックと医薬品の供給

国際麻薬統制委員会 (INCB)、WHO、国連薬物犯罪事務所 (UNODC) は、COVID-19とCOVID-19以外の患者の両方のニーズ (疼痛管理、緩和ケア、麻酔薬など) 対して、規制医薬品の調達と供給を確実に満たすよう各国政府に呼び掛けています。

世界人道デー 2020：人道支援者483人が被害

世界的なパンデミックによる前例のない困窮と不安のただ中で、人道支援者と医療従事者は最前線に踏み留まり、世界で最も脆弱な人びとを支援しています。昨年の2019年は人道支援者にかつてない酷い年となりました。国連や非政府組織などの人道支援者に対する攻撃や暴力行為によって483人が襲わ

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



れ、125人が死亡、負傷者234人、誘拐された人が124人となっています。

こどものマスク着用について

WHOとユニセフは5歳以下の子供は必ずしもマスク着用にとだわらなくてよい、という見解を出しました。この見解には子供たちが、適切にマスクを着用するには能力的に、最小限でも大人の助けが必要であるなど、社会心理的な必要性と発達状況などの判断が加味されています。

6～11歳については、地域での感染の広がりや高齢者と同居しているかどうかなどを考慮して判断することを求め、12歳以上は大人と同じようにマスクの着用を求めています。

コロナワクチン平等分配の枠組み：COVAXファシリティに172か国参加

COVAXは、ワクチンの世界的に公平な供給を目的としたグローバルイニシアティブです。各国の中には自国の財政でワクチンを調達できる国と、特に低・中所得国のように調達のための支援を受けなければならない国があります。

テドロス事務局長は世界的なワクチン争奪戦に対して懸念を表明し、COVAXに参加することがパンデミックの早期終息にもつながるとし、引き続き各国に参加を働きかけるとしています。現在172か国がイニシアティブに参加しています。

アフリカの野生株ポリオ根絶宣言

ARCC(アフリカ地域でのポリオの状況を判断する独立委員会)は、アフリカでの野生株のポリオが根絶されたと宣言しました。

ARCC委員長は、根絶の要件である4年間の新規症例発生ゼロを達成したと認定し、8月25日はアフリカにとって歴史的な日だと表明しました。これは40年前に天然痘がアフリカ大陸から根絶されて以来、二つ目のウイルスになります。

WHOのモエティ・アフリカ地域事務局長は、重要なマイルストーンであると評価しつつも、ワクチン由来のポリオの継続的脅威に対処するために予防接種率の維持を呼びかけています。(備考)今年新規感染が確認されたのは、アフガニスタンとパキスタンのみ。

怪しい情報防止の取り組み強化

コロナウイルスやCOVID-19という言葉が世界的に使い始められた時からWHOはインフォデミックという言葉を作成しました。それは意図的な虚偽または誤解を招く情報(でっち上げの話、写真、ビデオなど)がネットで拡散することです。

世界的なパンデミックの状況において、このようなフェイク情報やうわさが拡散すると深刻で致命的な健康上の悪影響をもたらします。例えばいくつかの国では食料が不足するといううわさによって人々が食料の買いだめに走って品切れを生じ、米国では、クロロキンの入った食品清浄タンクを通した魚を摂取して死亡した人がいました。

WHOは、リスク・コミュニケーションチームEPI-WIN(感染症のための情報ネットワーク)を中心に、ソーシャルメディア上に拡散する偽情報を抑制する活動を行っています。パンデミックの初期にAIによるソーシャル・リスニング・アプローチを導入し、誤った情報の特定を行っています。

8月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- | | | |
|--------|--------------|--------------|
| • A型肝炎 | • 抗生物質耐性 | • 口腔保健 |
| • B型肝炎 | • トラコーマ | • 食物媒介吸虫類感染症 |
| • C型肝炎 | • 人獣共通感染症 | • 乳幼児の食事 |
| • D型肝炎 | • 質の高い医療サービス | • 敗血症 |
| • E型肝炎 | • 緩和ケア | • 疥癬 |
| • 薬剤耐性 | • ブルセラ症 | |

9月

September

世界メンタルヘルスデー

10億人近くの人々が精神障害を抱えて生活しており、毎年300万人が過度の飲酒によって亡くなり、40秒ごとに一人が自殺しています。加えて、世界中の何十億もの人々がCOVID-19パンデミックの影響を受けており、人々のメンタルヘルスにさらなる影響を与えています。

健康データ改善のテクニカルパッケージ「SCORE」

多くの国では正確な健康データを日常的に収集するためのインフラとこれらのデータを使用する分析能力に欠けています。SCOREは、世界中の国々がベンチマークを設定し、ヘルスケアの基準の改善に役立ちます。

パンデミック：90%の国で保健サービスに混乱

特に低・中所得国でがん検診、HIV治療など重要なサービスが中断に直面しています。COVID-19はすべての国にとって、健康とは二者択一とするものではないという教訓を与えています。

コルチステロイドの使用ガイドを更新

WHOは重症および危機的状態のCOVID-19患者へは全身コルチステロ

イドの使用を推奨し、重症例ではない場合は使用してもその利益がないか、場合によっては有害になりうることから、使用しないこととしています。使用する場合は医師の管理の下でなければなりません。

新生児死亡率進捗報告書 2019

世界の新生児死亡率（出生1000人あたりの新生児死亡数）は、1990年の37人から2018年には18人と半減しました。新生児の死亡は5歳未満の乳幼児死亡率の47%を占め、2018年には250万人が死亡しています。

COVID-19から高齢者を守る

WHOの西太平洋地域には世界の高齢者の3分の1以上が住んでいます。2億4000万人の65歳以上の高齢者はCOVID-19パンデミックのために新たな困難に直面しています。

WHO：国際保健規則（IHR）の見直しへ

9月8日、WHOは国際保健規則（IHR）を見直す委員会を発足させました。これは今回のパンデミックにおけるIHRの機能を評価し、必要な改訂を提示しようとするものです。

青空はきれいな空気から：国際デー

9月7日は「青空のためのきれいな空気の国際デー」です。きれいな空気は、健康、経済、環境等にとって重要です。

非感染性疾患の介入のWHOパッケージ（PEN）

非感染性疾患（NCDs）は慢性疾患であり、全世界の死者の71%に相当する4100万人が毎年亡くなっています。PEN（Package of essential noncommunicable disease）は、これらの疾患に対する医療サービスの利用普及を改善するのに役立ちます。

COVID-19が子供の死亡率を後戻りさせる

52%の国で病気の子どもへの保健サービスが中断し、51%の国で栄養不良の管理サービスが中断しています。COVID-19による混乱が原因で1日あたり約6000人の子どもの死亡が増加する可能性があることが示されています。

心臓病の危険因子トランス脂肪酸の排除に向けて

工業的に生産されたトランス脂肪を排除する取り組みが開始されて2年、これまでに58か国が2021年末までに32億人をこの有害物質から保護するため

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



の法律を導入しています。しかしなお、100か国以上が行動をとる必要があります。

WHO : 敗血症に対し世界的な行動を

敗血症により毎年1100万人が命を落としています。敗血症は弱者に著しい影響を及ぼします。毎年4900万件の症例の半分は子どもたちで、その結果、290万人の子供たちが死亡しています。

COVID-19のACT-Aの初会合開催

ACT-A (Access to Covid-19 Tools-Accelerator) イニシアチブの設立総会が開催されました。これは、COVID-19の診断検査法、治療法、ワクチンの開発・生産と公正な分配、保健システムの強化を目標とした国際的な取り組みです。

世界の自殺 : 報告書発行

自殺は深刻な世界的な公衆衛生問題です。マラリア、乳がん、戦争や殺人より自殺による死亡が多く、世界の主な死因のトップ20に入っています。毎年80万人近くが自殺で亡くなっています。

世界健康危機モニタリング委員会 : 報告書「秩序が乱れ

た世界」を公表

世界健康危機モニタリング委員会は年次報告として2回目の報告書「A World in Disorder」を公表しました。第1回目の報告書は「危機にある世界」というタイトルでした。

第75回国連総会へWHOの3つのメッセージ

第75回国連総会において、WHOは3つのメッセージを発表しました。

- (1) COVID-19ツールへの公平なアクセス
- (2) SDG s 達成に向けて勢いを維持
- (3) 次のパンデミックに備える

患者の安全は医療従事者の安全から

9月17日は世界患者安全の日です。どの国も病院も診療所も医療従事者を安全に保つことが出来なければ患者を安全に保ち、ヘルスシステムの維持はできません。WHOは政府と保健医療のリーダーに対し、行動を呼びかけています。

ワクチンの共同購入の枠組み「COVAXファシリティ」に156か国が参加

WHOは、新型コロナウイルスのワクチンを世界各国で共同購入して分配する国際的枠組み「COVAX (コバックス)

」に、日本を含む156か国・地域が参加し、世界人口のおよそ2/3がカバーされることになります。

冠動脈性心疾患の死亡の20%がたばこによる

毎年190万人がたばこ誘発性心疾患で死亡しています。1日にほんの数本のタバコ、時々喫煙または間接喫煙への曝露は心臓病のリスクを高めますが、禁煙すると、心臓病のリスクは、1年間禁煙した後に50%減少します。

世界の看護の現状 : 2020報告書

この報告書でWHOは「3つの10億のゴール」として以下をかかげています。

- ・10億人がユニバーサルヘルスの恩恵を受けること
- ・10億人が健康の緊急事態から護られること
- ・10億人がより良い健康と福祉を享受できること

インフォデミックの管理に関する国際的共同声明

国連は、4月に誤報と偽情報の拡散と闘うための国際通信対応イニシアチブを立ち上げ、5月にはヘイトスピーチの対処に関するガイドを発行しました。

9月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| ・オピオイドの過量投与 | ・子ども : 生存と福祉の改善 | ・不妊 |
| ・チクンゲンヤ熱 | ・認知症 | ・危険な中絶の防止 |



低中所得国 (LMIC) 向けに安価なCOVID-19抗原迅速検査キット提供に合意

ACTアクセラレーターは、低中所得国(LMIC)向けに6か月間で1億2000万の抗原迅速診断検査 (Ag RDT1ユニット：最大5米ドル) を提供する合意を発表しました。

国連：ACTアクセラレーターへの支援を歓迎

ACTアクセラレーターは、COVID-19の20億回分のワクチンを製造するためには、350億米ドル以上の資金が必要であり、喫緊の資金として150億米ドルが必要としています。

今こそ次のパンデミックを防ぐために最適な時

ハイレベル会議では健康安全と社会の復元力のための持続可能な準備について、すべての社会を取り込むアプローチを採用し、「パニックそして忘却」という悪循環を断ち切ることに合意しました。

10月10日は世界メンタルヘルスデー

世界では10億人近くが精神障害を抱えて生活しており、毎年300万人が過度な飲酒により死亡し、40秒ごとに一人が自殺で死亡しています。

高齢者の健康と福祉のグロ

ーバルデータ・ポータルサイト立上げ

このサイトでは、60歳以上の高齢者の割合、健康寿命、高齢者の主な死因、聴覚や視力喪失などの障害の有病率、介護を受けている高齢者の割合、高齢者にやさしい環境に住んでいる人々の割合の指標などが含まれています。

WHO：COVID-19でメンタルヘルスサービス混乱

パンデミックにより、世界130か国の93%の国で重要なメンタルヘルスサービスが中断または停止され、死別、孤立、収入の喪失、恐怖は、精神的健康状態の悪化を引き起します。

第71回WHO西太平洋地域委員会開幕

第71回WHO西太平洋地域委員会が10月6日に開催されました(10月9日まで)。西太平洋地域事務局(WPRO)の葛西健事務局長は、COVID-19に対して各国が連帯して取組んできたことを誇りに思うと述べました。

強力なUHCの構築を

COVID-19が世界を混乱に陥れるまでは、2030年までにすべての人々に健康を提供するための積極的な歩みが進んでいました。しかし1年足らずで、パンデミックは過去25年間に達成した発展の利益を侵食しています。

顧みられない熱帯病の人びとのメンタルヘルス

顧みられない熱帯病(NTD)に罹患した人びとは直接的な影響に加えて汚名や差別による苦痛は、精神的、神経的、薬物使用の問題、自傷行為、自殺を引き起こす危険があります。

メンタルヘルスへの投資拡大を

パンデミックは現在でもリソースが不足しているメンタルヘルスサービスに大きな負担を強いています。WHOはビッグイベントを開催し。各国の専門家などがメンタルヘルスへの投資を呼びかけます。

16秒ごとに1件の死産

毎年200万人近くの死産(16秒ごとに1件)が発生しています。死産は妊娠28週以上で生命の兆候がない状態で生まれた赤ちゃんと定義されています。ほとんどの死産は、妊娠中および出産中のケアの質の低さが原因です。

WPRO：ワクチンと安全な手術の普及、高齢化と健康の行動計画を採択

第71回WHO西太平洋地域委員会(WPRO：Western Pacific Regional Organization)は、以下の決議を採択しました。

1. すべての人々を生涯に亘って予防接種で守ります。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



2. 安全で低費用の手術のための行動の枠組み：人は人生のどこかの地点で手術を必要とするときがやってきます。

3. 高齢化と健康のための地域行動計画：西太平洋地域には65歳以上の2億4000万人の高齢者が生活しています。2050年には倍になるでしょう。

気候変動と医療施設のためのガイダンス

ガイダンスは、気候回復力と環境持続可能性の両方を強化するために、保健領域の専門家と医療施設管理者、および意思決定者に基本となるツールと対策を提供します。

生活を深刻に脅かすCOVID-19

パンデミックにより、今年末には栄養不足の人びとが最大1億3200万人に増加する危険性に曝されています。また世界の労働力33億人の半分の生計が立ち行かなくなるリスクにさらされています。

新しい日常から新しい未来へ

パンデミックは新しい段階に入っているため、各国政府と個人は、社会的経済的活動を維持しながら、リスクを軽減し感染を最小限に抑えるためのさらなる行動が必要としています。

WHO：リスクに曝される結

核対策

パンデミックが発生するまでは、多くの国で結核 (TB) への取り組みが着実に進んでいました。しかし2019年に結核を発症したと推定される1,000万人のうち、約300万人が結核と診断されていないか、当局に正式に報告されていません。

抗ウイルス薬『レムデシベル』など、COVID-19に効果なし

レムデシベルのほか、抗マラリア薬「ヒドロキシクロロキン」、抗ウイルス薬「インターフェロン」、エイズ治療薬の「イオピナビル」と「リトナビル」の4つについて、いずれも患者の生存率や入院日数に大きな影響を与えないことを結論付けるデータが得られたと発表しました。

微量栄養素調査マニュアル発行

微量栄養欠乏への取り組みは、世界で最も大きな健康上の課題の1つです。特定の集団、特に女性と子供は、微量栄養素欠乏症のリスクが高くなり、免疫システムが十分に機能するために重要です。

WHO、ウィキペディアと協定：信頼できるCOVID-19情報の流通に向け

この協定により、世界中の人々がウ

ィキメディアコモンズのWHOインフォグラフィック、ビデオ、その他の公衆衛生情報を入手し、共有できるようになります。

ステロイドは不十分な環境下での未熟児の生存率も高める

デキサメタゾンおよび同系統の薬は、質の高い新生児ケアが普及している高所得国で未熟児の命を救うのに効果があることが以前から分かっていました。臨床試験で、この薬が低所得国の環境下でも有効であることが証明されたのはこれが初めてです。

『Health: A Political Choice – Act Now, Together』発刊

世界健康サミット2020と国連75周年を記念して、世界の指導者と政治家の団結を求める新しい書籍『Health: A Political Choice – Act Now, Together』が発刊されました。

北京宣言から25年：女性の健康、ジェンダー平等はどこへ向かうのか

1995年に北京で開催された第4回世界女性会議から25周年となる今年は「北京+25」として、女性の健康向上に関し、私たちは何を学んだのか、これから学ぶべきものは何か？という一連の特集論文が発表されました。

10月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・青少年のメンタルヘルス ・失明と視力障がい ・薬剤耐性 ・結核 ・新生児：生存と福祉の改善